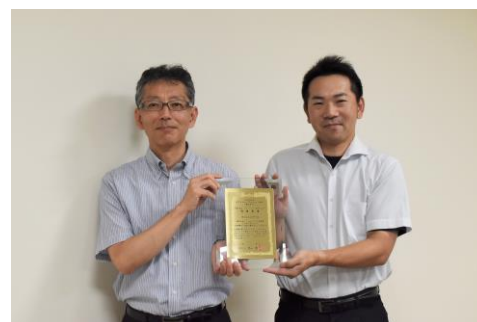


## コロナエコキュート、余剰電力の自家消費率向上への取組みが 令和3年度デマンドサイドマネジメント表彰で 「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞」を受賞

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市、社長:小林一芳)の自然冷媒 CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機「エコキュート」における余剰電力の自家消費率向上への取組みが、令和3年度デマンドサイドマネジメント表彰(機器部門)の「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞」を受賞しました。

デマンドサイドマネジメント表彰は、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターが、電力負荷平準化に資すると認められる総合システム(「電力負荷平準化システム」という。)を広く公募し、そのうち特に優れたものを表彰することにより、「電力負荷平準化システム」の一層の普及及び社会への啓発を図ることを目的として、2011年度から主催しています。なお、当社製品の受賞は13年連続※となります。

※エコキュートで10回、地中熱・空気熱ハイブリッド冷温水システムで1回、コロナエコ暖クール8.7で1回、エコ暖クールエアコンで1回の受賞歴(前身の「電力負荷平準化機器・システム表彰」を含む)



コロナエコキュートには太陽光発電の余剰電力を湯の沸き上げに活用する機能「ソーラーモードプラス」が搭載され、HEMS から送られてくる余剰電力の予測情報を基に、エコキュートが沸上運転を計画し実行します。翌日が晴れて余剰電力があると予測された日には、夜間の沸上量を減らして、昼間の余剰電力を活用して沸き上げます。受賞製品は、朝の使用湯量等を学習して、夜間の沸上量を抑える改良を行っており、自家消費によって昼間に沸き上げることができる割合を最大80%まで高めています(当社従来機は最大50%)。

### ■受賞理由

- ・太陽光発電の余剰電力を最大限活用するため、午前中の給湯使用量を学習し、夜間の沸上量を最小限に抑える機能を搭載し、年間の消費電力量の52.7%をPV発電の余剰電力で賄うことを可能にしたこと。
- ・昼間の余剰電力の活用率を最大80%まで向上させたこと。
- ・年間の一次エネルギー消費量を従来機と比較して、約39%削減していること。

【本件に関するお問合せ先】 株式会社コロナ <https://www.corona.co.jp/>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256(32)2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp

●報道機関からのお問合せ先 株式会社コロナ 広報室

【参考】 コロナエコキュート、余剰電力の自家消費率向上への取組みについて

株式会社コロナは、2017年に太陽光発電の余剰電力を積極的に自家消費する機能「ソーラーモードプラス」をエコキュートに搭載しました。2021年には同機能を改良し、余剰電力の自家消費率を最大で80%にまで高めております。

### ソーラーモードプラス

自動で余った電力を使って沸き上げます。

専用のHEMSを介して天気予測データを基に、エコキュートの運転を計画します。翌日の天気や前日までの電力消費パターンから、太陽光発電による余剰電力量を予測し余剰電力がある場合は、その電力を利用して昼間にも沸き上げます。

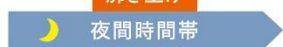


#### 通常運転

主に夜間時間帯に沸き上げます。



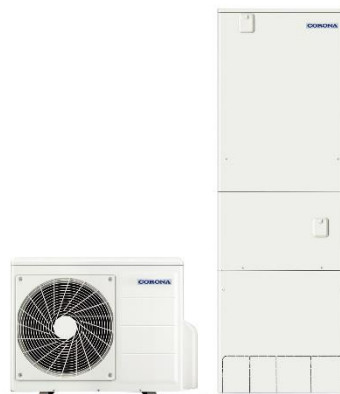
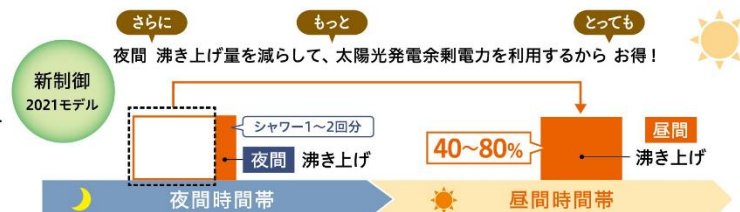
夜間  
沸き上げ



**NEW**  
昼間沸き上げ比率が  
さらにアップしました。(40~80%)  
「朝の使用湯量」等を学習することにより、必要な湯量を確保したうえで沸き上げ比率を最適に制御します。

#### ソーラーモードプラス

夜間と昼間に分けてかきこく沸き上げます。



コロナエコキュート